

**コンサートはみんなの力で大成功!**

●感謝と感動の涙でコンサート終演!



〔チラシとポスター〕



〔スタッフミーティング〕



〔看板も立派に〕



〔合唱に出演する春日部高校生〕



〔受付に華を添えてくれた「りんでんばうむの会」の皆さん〕

今日 10 月 15 日 (土)は、「**音楽の都ウィーンからの贈り物 ~世界の名曲集と日本の歌**」(三輪昭彦・実行委員長)のコンサートでした。昨年は春日部高校音楽ホールの客席(420 席)を半分しか埋められなかったというトラウマがある私は、朝 9 時のピアノ調律から 14 時の開演までピリピリとした状態で過ごしました。

11 時 40 分、スタッフの皆さんが集まり、タイムスケジュールと役割分担を確認して、受付・駐車場・会場誘導・舞台にスタンバイしてもらいました。12 時、最後の合唱曲「翼をください」で出演する春日部高校音楽部の皆さんも到着、出演者の富田千種さん、ポール田中七子さん、セバスチャン・フーリンガーさんも到着して舞台上でリハーサルを行いました。司会は飯沼中学校の音楽教諭・高橋法子さんでした。

13 時を過ぎたところで受付担当者から「お客さんが並びだした」との電話があり、飛んで行くと 50 名近くの人たちが集まっていますがガマン。

予定より 5 分繰り上げて 13 時 10 分に開場。瞬間に 150 人位が開場に入ってくれました。

5 分前のベルを聞いて受付を確認すると 430 名近くが入場していることが分かりました。まずはホッと一息です。最終的には 463 名(92%)が入場してくれました。今日受けた当日受付有無の電話を断るのではなかったと思いましたが、まあ致し方ありませんね。これも勉強です。

14 時に時間通り開会し、最初に実行委員長の三輪昭彦さん(春日部地区浦高会元会長)からのご挨拶、この事業の趣旨とともに春日部地区浦高会のことを PR されました。

最初の曲は、ヴィオラのソロ曲でバッハの「無伴奏組曲ハ長調 3 番プレリュード」でした。ヴィオラの優しい調べが会場を包みました。次は富田さんと田中さんによる歌唱でシューベルトの「鱒」とベートーベンの「蚤の歌」。この曲は、ゲーテの最高傑作とも評される「ファウスト」、その第一部で悪魔メフィストが歌う風刺に満ちた歌ですが、原語であるドイツ語の力強さもあります。いや〜富田さんの歌声が響いています。



〔13:10 いよいよ開場です〕



〔子ども達も来てくれました〕



〔会場も席が埋まり始めて〕



〔今年は中学生もかなりいて〕



〔開始 5 分前には 8 割に〕



〔14:01 挨拶の三輪委員長〕





〔フューリンガーさん〕



〔富田さんとピアノの田中さん〕



ピアノとヴィオラでシューベルトの「アルペッジョーネの為のソナタ」、ピアノソロでリスト「シューベルトのセレナーデ」、歌唱で平井康三郎の「平城山（ならやま）」、貴志康一の「かごかき」、ピアノとヴィオラでマスネの「タイスの瞑想曲」、3人でジーツィンスキーの「ウィーンわが夢の町」で第一部が終わりました。

第二部は、ピアノソロでバッハ とグノーによる「アヴェマリア」から始まり、富田さんと田中さんによるチェサリーニの「夢見るフィレンツェ」、ララの「グラナダ」が続きました。ここで、3人によるお話しがはいり、ここから圧巻は 15 分におよぶ

演奏ブラームスの「ヴィオラソナタ変ホ長調」でした。続いて私の大好きな歌では、富田さんが客席から登場してロッシーニのオペラ「セビリアの理髪師」よりアリア「俺は町の何でも屋」です。フューリンガーさんと田中さんによるラフの「カヴァティーナ op 85 -3」が終わると最後の曲で村井邦彦の「翼をください」です。春日部高校音楽部の 15 人も舞台に登場して、富田さんと合唱、さらに会場の皆さんとも歌う風景を見ていて、思わず涙が出てきました。

実は 3 年計画の「音楽の都ウィーンからの贈り物」事業は 3 年目の来年に富田さんが指導した生徒たちと合唱する予定で計画を組んでいたもので、2 年目で実現できたことに感謝と感激でした。それもウィーンフィルの方を交えて…。いや～素晴らしいコンサート、素晴らしい皆様に感謝です！



〔3 人によるお話し〕



〔最後の曲には春日部高校音楽部の皆さんも登場して〕



〔アンコールは 3 人で〕



音楽の都ウィーンからの贈り物  
世界の名曲集

